



2023年秋冬号

欧州ラドン温泉療法研究会

臺北温泉祭りおよび經濟部水利署レポート

2023年11月1～6日 台湾臺北に渡航してきました

台湾事務局長に高瑞蓮さんが就任



11月1～6日の日程で、台湾の臺北市に行って参りました。目的は新北投温泉地区で行われる臺北温泉祭りへの参加の他、事務局の移転、台湾經濟部水利署、臺北市政府水道局の訪問でした。日程別では以下の内容を終えてきました。

- 11月1日 台湾最大の欧州旅行専門・巨匠旅遊旅行会社を訪問
- 11月2日 台湾經濟部水利署(日本の経産省と国交省を統合した機関)局長を訪問
臺北市水道局訪問 北投温泉の源泉の全てを管理する支局長を訪問
- 11月3日 北投温泉源泉調査 1 地熱谷(旧地獄谷)のラジウム調査
2 行義路温泉のラジウム調査
臺北温泉祭り懇親会参加(円山グランドホテルにて650名の大宴会)
- 11月4日 北投地区旧日本村にてラドン療法勉強会開催:臺北市文化局協力
臺北温泉祭り理事会にて当研究会は名誉会員に留任
- 11月5日 新北市金山温泉視察
- 11月6日 当研究会事務局事務所移転と契約完了



台湾最大の欧州旅行社に欧州療養ツアーを紹介

台湾の海外旅行にもテーマ性のあるツアーに関心が集まっています。世情が不安定になる中、今のうちに貴重な時間を過ぎしておきたいと言った方が増えている様です。また日本同様、厳しいコロナ禍を経験した台湾にも健康感の変化が生まれ、非侵襲的な医療への関心が高まっています。そこで注目されたのが、当研究会が企画運営してきた欧州の医療機関研修ツアーです。来年の春～夏頃を目処に、ザルツブルグへ「癒し」の欧州体験ツアーをご案内する予定になっています。

台湾經濟部水利署と臺北市政府水道局を訪問



今年の6月に訪問した台湾經濟部水利署に再訪庁してきました。目的は前回に引続き、「水フォーラム」に関する打合せです。「水フォーラム」は台湾における水関連事業の会議で、事業方針や課題を共有する為に開かれる行政官の為の公式行事です。毎年10月末に開催され、温泉利用の課題として「欧州でのラドン療養の事例」を講演する予定で協議しています。また、臺北市水道局と、北投温泉に含まれるラジウム研究を行う為の協議も進めています。これらの調査は、学術論文として発表することを最終目標としています。ラジウム測定を行うチームリーダーは、尚綱学院大学の斎藤敬先生です。日本で水中のラジウムを学術的に計測されている唯一の大学教授です。これをきっかけに日台での学術交流を始めていきたいと考えています。ラジウムの科学的な解釈を深め、ラジウム温泉やラドン温泉の効用に関する研究者の育成に貢献できれば幸いです。



北投温泉 源泉のラジウム含量を調査

台湾には日本の様な温泉法がない為、温泉の管理は水道局によって行われます。その目的は入浴用温水の衛生管理に限られます。つまり、温泉成分には強い酸やアルカリ、有害金属が含まれるため、これ等の成分のみが管理されています。一方、台湾の温泉は見た目の色で分別されています。北投温泉では、白湯(硫黄泉)、青湯(含ラジウム硫黄泉)、黄湯(含鉄炭酸泉)の3種に分類されています。北投石で有名な北投温泉でも、ラジウム計測の専門家は居らず、不定期に行われる外国の科学者の学術調査に限定されています。今回の渡航時には、北投の地熱谷、行義路温泉の源泉2ヶ所を採水、調査しました。結果は来年の温泉祭りの際、臺北市水道局にて発表予定です。



北投中心新村(旧日本村)にてラドン療法勉強会

11月4日の午前、北投温泉地区に残された旧日本村(現・中心新村)の保存家屋にてラドン療法勉強会を開催しました。北投は旧日本陸軍の居留地として再開発された地域でした。ここに多くの日本人が住んだ事で温泉開発が進んだ歴史があります。この歴史保存地区での勉強会には、尚綱学院大学の斎藤敬先生、ひぐらし整形外科内科院長の丸野紀子先生、三重県湯の山温泉協会から片桐真己さん等を講師に迎え、欧州のラドン療法の現状や、療養泉としての成分分析法、利用法を医科学的に解説頂き、北投温泉の持つ可能性を参加者で考える時間を創ってきました。台湾からの参加者には、整形外科医、放射線科医、老人ホーム経営者、薬局協会会長など様々な立場の方が参加されました。温泉を成分で分類する方法や、海外での積極的な温泉利用に驚いている方も多く見受けられました。そして参加者の中から、成人介護を研究している大学の研究室と共同勉強会の開催が提案されました。24年春頃の開催に向け準備を進めていきたいと考えています。



臺北温泉祭り定時総会にて名誉理事に留任しました

11月4日午後、臺北温泉祭りの主催である、臺北市と台湾亜太国際温泉旅遊協会の年次総会が開かれました。当研究会も北投温泉協会の会員であり、この活動に協力している事から、理事の1人として参加しています。20年度より名誉理事に選出されましたが、今年の総会でも名誉理事として留任案が採択され決定しました。これも皆様のご支援によるものであると感謝しております。日本国外にも、当研究会の活動に関心のある方は多く、ぜひ次年度にも多くの方と臺北温泉祭りに参加できれば幸いと存じます。



新北市の金山温泉を体験してきました

11月5日、日本村での勉強会を共催した景建設グループの会長からの招待で、臺北市北部に広がる新北市金山温泉を体験してきました。陽明山の南東に位置するこの温泉街は、立地の良さから臺北市民が多く訪れる人気の保養地となっています。また、泉質は鉄を多く含み、日本で言う有馬温泉の金泉です。しかし、温泉の色は本当に澄み切った金色で、沈殿物は殆ど無く、不思議な泉質でした。地質が大きな影響を与える温泉には、まだまだ知らない泉質が有るのだと教えて頂いた貴重な時間となりました。



臺北温泉祭り・ラドン療法勉強会を終えて

日本からは6名の方が参加頂き様々な活動をご一緒しました。貴重な時間を頂き感謝しております。来年も多くの方にご参加頂ける様、多くの企画を準備して参ります。